



# 令和6年度 予算編成に関する要望書

府中市議会 公明府中

令和5年11月

幹事長 福田 千夏  
奈良崎 久和  
西村 陸  
高津 みどり  
坂本 けんいち



令和5年11月6日

府中市長 高野 律雄 様

公明府中 幹事長 福田 千夏

## 令和6年度予算編成に関する要望書

3年以上に及んだコロナ禍を経て日本経済は回復基調にはありますが、原油高騰や円安基調により足元の物価は依然として高水準で推移し、生活の現場に重くのしかかっています。このインフレ下での市民の暮らしを支えるために、さまざまな対策を講じていく必要がありますが、しかし依然として財政見通しは厳しく、経常経費の増大も見込まれることから、令和6年度も事業の最適化を図る取り組みが望まれます。

私たち公明府中は、本年も、市民相談やご要望、各団体からのヒアリング（政策懇談会）等で得た切実な「声」、また議会質問での政策提案など優先して取り組むべき重点要望17項目と一般要望163項目の全180項目としてまとめました。

令和6年、市政施行70年の佳節を迎えるこの時に、次の世代への持続可能な将来ビジョンを示し、市民へ安心と希望をもたらす積極的な市政運営を強く要望致します。

## 令和6年度 予算各会派要望

番号			要望事項
重点要望			
1	1	1	燃料、物価高騰により、運営が厳しくなっている医療機関、高齢者、障害者の施設、事業所に対して経済的な支援を行うこと。
2	2	2	給食費を恒久的に完全無償化すること。 また、食材など質が低下が起きないよう、安定した提供を行うこと。
3	3	3	带状疱疹ワクチン接種助成を引き続き令和6年度以降も継続すること。 また、東京都へ助成期間延長を要望すること。
4	4	4	「子ども条例」を制定し、子どもを権利の主体として位置づけ、子どもの幸せを最優先にする府中市をめざすこと。
5	5	5	市の文化芸術に対する普遍的な理念を具現化する「府中市文化芸術振興条例」を制定すること。
6	6	6	児童など望まない受動喫煙の防止を図るため、学校や児童福祉施設および公園やイベント会場、通学路などでの喫煙を制限する「府中市受動喫煙防止条例」を制定すること。
7	7	7	児童相談所を府中市単独で設置すること。
8	8	8	多摩府中保健所の現状を鑑み、府中市単独で設置できるよう東京都に働きかけること。
9	9	9	保育士の処遇改善に努め、保育士を確保し、保育サービスの向上を図ること。
10	10	10	保育園の定員枠について、公立保育所で定員調整を行うとともに、医療的ケア児や発達障がい児など支援の必要な子どもの受け入れを強化すること。
11	11	11	民間事業者による合理的配慮の提供が義務化されることを踏まえ、事業者の意識醸成および現場での展開を図るために要する費用の助成制度を設けること。
12	12	12	築40年を迎える心身障害者福祉センターについて、災害リスクも考慮し、浸水想定区域外への移転とともに、居住施設の併設も併せて検討すること。

## 令和6年度 予算各会派要望

番号			要望事項
13	13	13	健康増進やボランティア活動などに対しポイントを付与・活用できる、「健康マイレージ(ヘルスケアポイント)」「ボランティアポイント」「エコポイント」などのしくみを検討すること。
14	14	14	府中市避難行動要支援者避難支援プラン(全体計画)に基づき、災害弱者のための「個別避難計画」を速やかに策定すること。
15	15	15	府中市自転車活用推進計画を策定すること。
16	16	16	市が掲げたゴミ減量の目標を達成した折には、ごみ袋を値下げすること。
17	17	17	「相続登記等の義務化」について、積極的に広報活動をするとともに、専門家(司法書士等)を活用した相談体制を整えること。

## 令和6年度 予算各会派要望

番号			要望事項
一般要望			
1 人と人が支え合い 誰もが幸せを感じるまち(保健・福祉)			
がん対策推進のために			
1	1	1	「府中市がん対策推進計画」を策定すること。
2	2	2	がん検診の申し込み方法について、電子申請を可能にすること。
3	3	3	小・中学校においてがんを正しく知り、理解を深め、健康や命の尊さを学ぶ「がん教育」を専門家や外部講師を活用し実施すること。
4	4	4	がん治療に伴う外見(アピアランス)の変化に対するウイッグや乳房切除された場合の補整下着等のケア用品購入費助成制度を創設すること。
5	5	5	HPVワクチン接種について、対象者への積極的な接種勧奨を行うこと。 また、キャッチアップの最終年度となることから接種世代への個別勧奨を行うこと。
6	6	6	男性へのHPVワクチン接種費の助成を行うこと。
市民の健康増進のために			
7	7	1	特定健康診査等において、地域に医療機関が限られているなど、市境周辺住民の受診を確保する観点から、他市の医療機関での相互乗り入れ受診を可能とすること。
8	8	2	高齢者肺炎球菌ワクチン接種について、5年経過後の2回目以降についても接種費用助成を継続すること。
子育て支援のために			
9	9	1	母子健康手帳の電子版を導入すること。
10	10	2	多胎妊娠の妊婦健診においては、妊婦健康診査受診券の14回分が足りない場合でも、必要な回数の受診を可能にすること。

## 令和6年度 予算各会派要望

番号			要望事項
11	11	3	乳幼児健診の予診票にアレルギーやいびきに関する項目など必要に応じて追加を検討すること。また、健診時のサポート体制の強化を図ること。
12	12	4	子どもの意見を聴き、調査・監視・勧告を行政に行える権利擁護機関「子どもコミッショナー」を設置すること。
13	13	5	里親登録にもつながる「里親のショートステイ」事業を推進すること。
14	14	6	使用済みおもむつの園内処理について、私立保育園も含めたすべての保育施設で行うこと。
地域福祉の充実のために			
15	15	1	法定後見や任意後見など、成年後見制度のさらなる充実を図るため、行政書士など士業との連携を強化すること。
16	16	2	各担当課からリリースするアプリについては、合理的配慮の観点から、いずれもVoiceOver対応を標準仕様とすること。
高齢者の支援のために			
17	17	1	ささえあい協議会と連携し、属性や世代を越えた全市的な包括支援の充実を図るため、「重層的支援体制整備事業」を実施すること。
18	18	2	高齢者の難聴対策として、聴力検診および補聴器購入費助成制度を導入すること。
19	19	3	要介護者への「地域密着型サービス」の充実に向け、夜間対応型訪問介護等の拡充を図ること。
20	20	4	死後事務委任契約を士業団体等と連携してしくみを構築すること。
21	21	5	高齢者運転免許証自主返納支援事業を継続事業とすること。
22	22	6	訪問理容について、①補助金拡充 ②年間8回の利用については、1か月に1回と限定しないこと ③施設利用者についても利用券を使用できるよう柔軟に対応すること。

## 令和6年度 予算各会派要望

番号			要望事項
23	23	7	高齢者の緊急通報サービスについて、固定電話を利用しない市民も増えていることから、無線型式の緊急通報システムの導入を検討すること。
障がい者の支援のために(全般)			
24	24	1	同行援護の支給時間を、加算分も含めて通院のみに限定せず、50時間/月程度に引き上げること。
25	25	2	障がい者の日常生活用具の対象品目を、当事者の生活に必要な用具やサービスなど幅広く対応すること。
26	26	3	高齢障がい者が必要とする支援を安心して受けられるよう、施設の設置・拡充を図ること。
27	27	4	在宅レスパイト事業について、夜間・休日も対応できる事業者を確保すること。
28	28	5	重度重複障がい者の地域移行について、自立支援を条件とした居宅介護と重度訪問介護の併用を認め、必要に応じ適切に対応すること。
29	29	6	地域生活支援事業の移動支援事業において、事実上利用が制限・抑制されている現状を改善するため、従事者の資格要件を再検討するとともに、知的や重心など障がい特性も踏まえ、資格者養成を進めること。
30	30	7	双子や年子などの世帯における未就学児への通所後の外出支援や通所時の介助も移動支援事業の対象とすること。
31	31	8	市職員の障がい者雇用にあたり、通勤介助・就労介助など環境整備を図るとともに、精神、知的および発達の各障がい者の安定した雇用の拡充と維持に努めること。
32	32	9	心身障害者福祉センターについて、医療的ケアへの対応や、利用当日の対応など緊急性の高いケースでの確実な受け入れのため、指定管理での体制整備・増床を図ること。
33	33	10	親亡き後への対策として、一生住み続けられる心身障がい者の入所施設など、安心して暮らせる施設整備を進めること。
34	34	11	重度心身障がい者が自立し、将来にわたって地域で安心して暮らせる住居確保のため、事業者の誘致やグループホーム設置などを含め、幅広く検討を進めること。

## 令和6年度 予算各会派要望

番号			要望事項
35	35	12	福祉タクシー券が適切に活用されるよう、乗車時に利用者を確認するなど、市が利用状況を把握できる仕組みに改善すること。併せて、医療行為など必要に応じ、例外的に追加支給できるよう検討すること。
36	36	13	精神障がい者の家族のために、アウトリーチ支援事業と短期宿泊事業の推進を図ること。
37	37	14	自立支援協議会において、より当事者の意向を反映するため、規則に定める委員構成の「(4)障害者若しくは障害児またはその家族等 5人以内」となっているものを、障害当事者の参画を促すよう構成を改めること。また専門部会において、当事者部会を設けること。
38	38	15	府中市障害福祉サービス支給決定基準において、介護保険と障害福祉サービスを併用する際の、「要介護区分5」の制限規定を見直し、障害特性に応じて(ALSなど介護区分5以下の疾患など)障害福祉サービスを適切に受けられるよう改正すること。
39	39	16	今後の感染症対策において、ALSなど呼吸器を使用する障害者の場合、以下検討すること。①優先的に入院対応できる配慮をするとともに、入院中の介護のあり方など適切な支援。②居宅での療養では、エッセンシャルワーカーの感染対策・緊急手当の導入など、派遣の確保策。③通所系サービスの提供ができない場合、居宅で生活する利用者へのサービスの提供など代替措置(重度訪問介護の緊急措置など)。



## 令和6年度 予算各会派要望

番号		要望事項	
障がい者の支援のために(身体)			
40	40	1	人工呼吸器の使用者にとって必要不可欠な電源(バッテリー)の購入費補助制度を創設し、都の補助に上乘せすること。
41	41	2	障がい者の訪問入浴サービスにおいて、利用者の希望に沿ったサービスを提供すること。
42	42	3	重度障がい者の入浴サービス事業において、単身での利用のため、第3者による付き添いを可能とするよう要綱を見直すこと。特に緊急時においては、医師の診断書や訪問診療の緊急対応などを条件として利用できるよう検討すること。
43	43	4	「雇用施策との連携による重度障害者等就労支援特別事業」の実施を検討すること。
44	44	5	数台の車椅子に対応できる借上げバスが利用できるように費用の助成含め検討すること。
障がい者の支援のために(視覚)			
45	45	1	市内全域を対象に横断歩道周辺への点状ブロックの敷設について当事者の意見を反映したうえで進めること。
46	46	2	ちゅうバスおよび路線バスのバス停に、乗り場を示す点状ブロックを敷設すること。
47	47	3	エスコートゾーンについては警察と連携し、交通量の多い交差点の横断歩道に積極的に敷設を進めるとともに、直角に交差していないなどの交差点には、障がいのある当事者が正しく渡れるよう配慮した敷設を進めること。
48	48	4	シグナルエイド対応音声誘導信号機のレシーバーの日常生活用具への指定および支給と、対象を拡充すること。(1、2級からロービジョンまで)
49	49	5	視覚障がい者のための生活用具として、網膜に直接映像を投影するQDレーザーを日常生活用具給付事業の対象品目にする。さらに図書館や美術館など視覚補助としての活用を図る事。

## 令和6年度 予算各会派要望

番号		要望事項	
障がい者の支援のために(聴覚)			
50	50	1	市が提供する映像コンテンツへの字幕を標準仕様とすること。
51	51	2	要約筆記者の養成講座を実施すること。
52	52	3	デフリンピックの開催にあたり、聴覚障害者協会への情報提供と連携の強化を図ること。
53	53	4	18歳以上の中等度難聴者への補聴器購入費助成を行うこと。
54	54	5	新庁舎「おもや」のエレベーターにおいて、聴覚障害者のため、災害時など停止した場合の外との意思疎通・情報提供が図れるよう改善するとともに、「はなれ」においては設置の段階から導入すること。
55	55	6	市が主催する各種講習会やイベント開催にあたり、手話通訳を保障するよう体制を整備すること。
56	56	7	市主催の「手話講習会」を同一会場で行なえるよう、会場の確保のため支援、配慮すること。
2 緑とともに暮らせる 快適で安全安心なまち(生活・環境)			
ごみ減量推進のために			
57	1	1	生ゴミの水切り励行をさらに促進するため、市民の行動に繋がるアテンション(ピクトグラムとひと言)をごみ袋本体や紙巻きの表記に付加するなど、企業広告も含めさらなる創意工夫を図ること。
58	2	2	常設型のフードパントリー(食品貯蔵庫)を設置し、「生活困窮者等食品・相談支援事業」として、パントリーを活用した食品支援を行い、生活にお困りの方へ適切な支援が届けられる仕組みを作ること。
59	3	3	“食べる”ことに困っている人と、“食べる”を支援する人や活動団体、法人・企業をつなぎ、何もしなければ廃棄されてしまう商品を消費者のニーズとマッチングさせる「フードシェアリング」の仕組みをつくること。
60	4	4	生活困窮者へのフードパントリーにおいて、食材購入費など補助金を柔軟に使用できるようにすること。
快適な住環境・環境保全のために			

## 令和6年度 予算各会派要望

番号	要望事項		
61	5	1	ごみ屋敷など荒廃した住居の解消に向け、訪問実施から、自治会、NPO、市民団体等による片付けの協力などで着実に実施できるしくみをつくること。
62	6	2	バス停の改善・環境整備(日除け・ベンチ設置など)のため、隣接する公共用地の活用など視野に調査すること。
63	7	3	受動喫煙につながる路上喫煙を防止するため、密閉型喫煙ブースを設置すること。
64	8	4	地域猫の減少を踏まえ、不妊去勢費用の助成とともに、今後は施設の確保など関係団体と連携して支援の充実を図ること。
65	9	5	高齢化が進む公営住宅の自治会運営について、住宅課と地域コミュニティ課などが連携し、サポートすること。
事故や犯罪に強いまちづくりのために			
66	10	1	商店会への防犯カメラ設置の補助とともに犯罪多発地点や各駅周辺、未設置の公園への防犯カメラの拡充を図ること。
67	11	2	犯罪歴や非行歴のある人の更生支援として、住居確保や就労の支援策を講じること。
男女共同参画推進のために			
68	12	1	LGBTへの理解をさらに広げるため、職員研修や市民への啓発を図るとともに、互いの人格と個性を尊重し合いながら相互理解の増進を広く市民へ図るための施策を講ずること。
69	13	2	同性パートナーシップ宣誓制度をさらに「ファミリーシップ制度」に拡充し、同姓カップルの子や事実婚も家族として公認できるようにすること。
70	14	3	女性の就労支援を促進すること。特に地域女性活躍交付金を活用するなどして女性のデジタル人材育成に積極的に取り組むこと。
71	15	4	女性困難法に支援のための基本計画を策定するとともに、関係機関と連携のうえ多様化するニーズに対応するため、女性相談員の配置・育成に取り組み、居住・同行・就労支援などを事業化すること。
72	16	5	男女共同参画センター・フューールのDV等相談窓口となっている「女性問題相談」の名称をわかりやすいものにする。

## 令和6年度 予算各会派要望

番号			要望事項
3 多様性を認め合い 人と文化が磨かれるまち(文化・学習)			
73	1	1	清潔な図書環境を提供するため、図書消毒器を学校図書館にも設置すること。
74	2	2	大学生への奨学金制度を創設すること。
75	3	3	府中の魅力発信（観光・産業振興・広報など）のために活用できる写真・動画コンテンツを集約したフォトライブラリーを創設すること。
誰もが主役のスポーツタウン府中をめざして			
76	4	1	ジュニアスポーツも含め、ラグビーの競技人口が増加しているため施設を整備すること。
77	5	2	スケートボードなどアーバンスポーツのイベント開催やニーズ調査を行い、練習や競技ができる場所や設備の確保に向けて検討すること。
小・中学校の充実のために			
78	6	1	スクールカウンセラーなどへのSOGIカウンセラー研修を実施すること。
79	7	2	学校支援員等の人材確保について、学校ごとでの確保が難しい場合は、教育委員会が積極的に支援すること。
80	8	3	現段階で改築予定がない小・中学校においても学校内での設置も視野に給水機を常設とすること。
81	9	4	第十小学校通学路のうち、都立多磨霊園内を借りている部分の管理について、霊園との覚書を、負担のあり方も含め見直しを図り、必要な箇所の適切な管理に努めること。
82	10	5	児童見守りサービス「otta」について、登録者の拡充、また、基地局の増設や、より効果的な再配置を促すこと。見守り人の増加について、保護者や市民などへのシステムの周知と呼びかけを継続すること。またオプションへ加入しやすくするため、市の負担も含め、無料トライアル期間の延長など、事業者とも連携し対応すること。
83	11	6	学校内の校舎以外のトイレについて速やかに改修すること。

## 令和6年度 予算各会派要望

番号			要望事項
84	12	7	学童保育の質・スペースの確保のため、定期的な調査を行うとともに施設ごとに安全対策やサービスに格差が生じないように対応すること。
85	13	8	不登校の子どもの居場所確保と学習支援のひとつとして、フリースクールなどの授業料を助成すること。
4 魅力あふれる うるおいと活力のあるまち(都市基盤・産業)			
安心・安全なまちづくりのために			
86	1	1	沿道以外の、赤道などに接している、劣化や耐力不足と思われるブロック塀の撤去や改良工事について、補助制度の創設を検討すること。
87	2	2	シグナルエイド対応音声誘導信号機の設置拡大を図ること。
88	3	3	ロービジョンを含む視覚障がい者への交通安全指導・講習を実施すること。(シグナルエイドの紹介も)
89	4	4	北府中駅前への横断歩道設置について東京都に要望すること
90	5	5	中河原駅前鎌倉街道歩道橋へのエレベーターや、交差点への横断歩道設置、既存の信号機の見直しについて関係機関と協議すること。
91	6	6	雨天時などに大変滑りやすく転倒も多い危険なタイル敷き歩道(府中の森公園周辺など)の点検を実施し、防滑施工を図ること。
92	7	7	歩道の有効幅員の確保・安全対策のため、最優先課題として街路樹、植樹帯の撤去について、引き続き実施すること。
93	8	8	道路等包括管理について、常に事業者や市民からの声を聞き、3年間の評価を踏まえ、サービスの向上と適切な予算計上に努めること。
94	9	9	路面標示用シート(喫煙禁止路線・環境美化推進地区など)を、管理コストの削減と剥がれ等による転倒防止のため、メンテナンスフリーで耐久性のある材質(陶板など)に変更すること。
95	10	10	市道など管理道路を定期的に空洞調査し、対象路線の拡充を図ること。

## 令和6年度 予算各会派要望

番号			要望事項
96	11	11	空き店舗対策と賑わいを生み出すために、家賃補助等必要に応じて事業支援を行うこと。
97	12	12	道路や公園工事において、造園がメインの案件については、「一般土木」での発注ではなく、本来の「造園」で発注し、その専門性を十分に活かすこと。
空き家の解消と効果的な活用のために			
98	13	1	空き家や所有者不明土地の所有者相続人等の権利調査にあたっては、地域の事情に精通している司法書士・行政書士を積極的に活用すること。
99	14	2	特定空家に至らない、周辺環境に影響を与える荒廃した空き家に対し、より積極的な対応の強化に努めること。
100	15	3	地域住民によるささえあい活動や高齢者の居場所づくり等、地域福祉をさらに推進するため、地域の空き家が利活用できるよう、福祉保健部、生活環境部、都市整備部などが連携して取り組むこと。

## 令和6年度 予算各会派要望

番号		要望事項	
誰もが快適に移動できる公共交通のために			
101	16	1	ちゅうバス、鉄道、タクシー、シェアサイクル等の多様な交通手段やサービスと連携し、誰もが利用しやすい新しい公共交通の形として府中市版MaaSの実現に向けて検討すること。
102	17	2	ちゅうバス路線から遠い交通不便地域(例:多磨町東部など)において、タクシーの助成制度対象外の交通弱者の移動支援として、例えばタクシー事業者と協働したデマンドタクシーなどの実証実験を検討すること。
103	18	3	コミュニティバス事業について、バスにこだわることなくワゴン車やタクシーなどを活用し運転手不足や運行経費の改善を図ること。
104	19	4	京王線府中駅及び分倍河原駅にホームドアを早急に設置するよう積極的に要請・働きかけること。
105	20	5	利用者の多い駅周辺の市営自転車駐車場の思いやりスペースをシニアカーなども利用できるよう拡充すること。
公共施設の利便性と市民サービス向上のために			
106	21	1	市役所で第2・4土曜に開いている土曜窓口のうち、1回は日曜に実施すること。(例:第2土曜と第4日曜)
107	22	2	新庁舎における市民サービスの一環として、各土業の名札表示板(デジタルサイネージ等も含む)を設置すること。
108	23	3	広報ふちゅうについて、現在は新聞折込を基本としているが、個別配布が年々増加していることから全戸配布を検討すること。また、市で全戸配布している情報物は関係課と連携し、同時期に配布するものについてはまとめて配布する仕組みを作ること。
109	24	4	市庁舎において婚姻届や出生届を提出した際の記念撮影コーナーを設置すること。
110	25	5	社会運動への支援及び賛同の意を示すため、新庁舎において日本や世界における主なアウェアネスカラーのライトアップ等を行うこと。
111	26	6	公共施設における、老朽化した設備・機器等を適切に管理し、計画的に更新すること。

## 令和6年度 予算各会派要望

番号			要望事項
112	27	7	市内公共施設の女性トイレ内に、生理用品無料配布システム(ディスペンサー)を設置すること。
113	28	8	公共施設の男性トイレにサンタリーボックスを設置すること。
114	29	9	公共施設の新設・改築・改修の際は、男性トイレにも赤ちゃんのおむつ替えベッドを設置すること。
115	30	10	デジタルデバйд解消に向けて、「デジタル活用支援員」を活用し、スマートフォンの使い方講習などの機会を通年で定期的に行うこと。
116	31	11	市が設置する各種コールセンターにおいて、相談者の負担軽減のため、フリーダイヤルの拡充をはかること。
117	32	12	公共施設において、節水対策として節水バルブの導入と、節水の徹底をはかること。
118	33	13	発注業務の履行状況や成果物の評価をより適正に行なうとともに、成績評定や優秀表彰などに反映させること。
119	34	14	市内登録業者の営業実態等の情報収集にあたり訪問調査等を行い、適切な指名選定に努めること。
120	35	15	公共施設の建設などにおいて、事業者の長時間労働是正のために、「工期に関する基準」に基づく適正な工期を設定すること。
121	36	16	プラッツおよび文化センターでの期日前投票の期間・時間延長の効果を検証するとともに、フチャールも含めた投票所の増設を検討すること。
122	37	17	学校施設老朽化に伴う改築にあたっては公共施設マネジメントに基づき、文化センターなどとの複合化も検討すること。
123	38	18	固定資産評価証明書等の申請と手数料の納付に関して、本人及び代理人による電子申請と手数料の電子納付を可能とすること。
124	39	19	郵送にて戸籍や住民票の請求をする場合の手数料を、小為替から電子マネーなどへの変換を図ること。



令和6年度 予算各会派要望

番号		要望事項	
公園施設の充実のために			
125	40	1	健康遊具等の増設を図ること。
126	41	2	ドッグランの設置に向けて、府中の森公園への設置について東京都へ要望すること。併せて、府中基地跡地留保地への設置を検討すること。
127	42	3	公園の指定管理は市内事業者を最優先するとともに、現場事務所の設置費用や設置期間なども含め、適切な予算・工期とすること。
128	43	4	郷土の森公園の交通遊園改修に際し、小中学校などや市民への自転車交通安全教育にも活用できるよう整備すること。
ボートレース平和島本場の充実のために			
129	44	1	将来の競走事業のビジョンを描き、世代や国籍を問わず愛されるボートレースのフラッグシップ的存在として、また東京の新たな名所としても位置づけられるような魅力的な本場およびエリアづくりをめざすこと。
130	45	2	若年層・ファミリー層の来場者の増加を踏まえ、受動喫煙防止の観点から、徹底した禁煙・分煙対策を実施すること。
131	46	3	本場への来場者へのサービスの維持・向上や、適切な運営のため、従事員の処遇改善(①特殊手当の拡充=売り上げを考慮した手当の導入など、②病気休暇や介護休暇などの有給化、③地域手当の拡充=20%へ)を図ること。
会計年度任用職員の処遇改善のために			
132	47	1	会計年度任用職員の最低時給を1,200円以上に、また有資格者の最低時給を1,500円以上にし、処遇改善を図ること。
133	48	2	日額・時間額制会計年度任用職員の夏季休暇及び慶弔休暇を、月額制会計年度任用職員と同等に有給とすること。
134	49	3	日額・時間額制会計年度任用職員の病気休暇を、月額制会計年度任用職員と同等に有給とするとともに、休暇期間を年間15日にすること。
5 市民の命を守る「防災・減災のまち」ふちゅうのために			
災害に強いまちづくりのために			

## 令和6年度 予算各会派要望

番号			要望事項
135	1	1	風水害などへの対応力を強化するため、「気象防災アドバイザー」の活用について検討すること。
136	2	2	「自主防災連絡会活動促進事業」の活用を促し共助による地域防災力の向上を図ること。
137	3	3	耐震診断・改修などへのさらなる助成拡大と、木密地域の耐震化を具体的に進めること。
138	4	4	市道主要道路の沿道建築物の耐震化について、目標達成に向けて積極的に取り組むこと。
139	5	5	緊急輸送道路の無電柱化を進めるよう国や東京都に対して強く働きかけるとともに、市道においてもさらなる推進を図ること。
140	6	6	広域避難場所案内板等の整備を進め、設置にあたり、夜間でも見えるようソーラーパネルの採用、広告収入を充当した官民協働事業等も含めて検討すること。
141	7	7	ゼロカーボンシティ推進のため、公共施設における太陽光発電の新規設置および設置済み施設に蓄電池も標準仕様として導入すること。
142	8	8	災害時に生活用水として活用するため、市内の民間井戸を把握するとともに、災害時の水利活用のためのしくみを検討すること。
143	9	9	局地的な災害時における一時的住まいの確保策として、生涯学習センター等の公共施設を活用するために、指定管理者と災害協定を結ぶこと。
144	10	10	大規模水害時における都営住宅等を活用した緊急用スペース確保のため、東京都と協定を結ぶこと。また、空き住戸に関しては、災害備蓄品の保管場所として運用すること。
145	11	11	防災ハンドブックの概要版を「おとしよりのふくし」「子育てのたまたま箱」等に掲載すること。
146	12	12	総合防災訓練や、各学校における防災スクール・地域防災イベントなど、各種訓練において、災害用ガスバルクを活用すること。
147	13	13	公共施設等の非常用発電機について、緊急時に確実に稼働できるよう、防災訓練時に稼働させるなど、適切な点検・管理に努めること。

## 令和6年度 予算各会派要望

番号			要望事項
148	14	14	市の情報発信を強化するため、番組を持つなどコミュニティFM放送を活用すること。
149	15	15	地域の防災力向上のために、防災士・防災介助士の受講料助成など、受講促進を図るとともに、市としても資格所有者を積極的に活用すること。
150	16	16	地域の防災力向上のために、防災士・防災介助士の受講料助成など、受講促進を図るとともに、市としても資格所有者を積極的に活用すること。
151	17	17	地域の防災力向上のために、中学校での防災教育として、ジュニア防災リーダーを育成すること。
152	18	18	地域全体の防災力向上につなげるため、従来の防災訓練等に参加が難しい年代の層へ、参加しやすいICTを活用したオンライン防災イベント「体験型防災アトラクション」を開催すること
153	19	19	本市と災害協定を締結している各種団体との定期的な連絡会議の開催や協働で防災訓練を行うなど、具体的な課題の共有と改善につなげること。
154	20	20	浸水想定区域内に居住する市民への「マイ・タイムライン」の周知と、各家庭での作成を推進すること。
155	21	21	通電火災防止の啓発を図るとともに、感震リレー／感震ブレーカーの普及・啓発および設備設置補助制度を導入すること。
156	22	22	日常と災害時の垣根をなくす「フェーズフリー」の概念を取り入れ、特別な備えを用意するのではなく、普段から使うものを災害に役立てようとする考え方を市の施策に反映させること。
安心安全な避難所運営のために			
157	23	1	災害時のペット対策として、ペットと同行避難可能な避難所におけるコーディネーター(ペットとの共存に向けたリーダー)、ペット支援ボランティアの導入などの対策を講ずること。
158	24	2	小・中学校の備蓄倉庫の機能強化のため、備蓄品が十分に収納できるよう教室程度のスペース確保に努めるとともに、改築時において校舎内への設置を標準仕様とすること。
159	25	3	液体ミルクを災害時に提供できるしくみを作る事。

## 令和6年度 予算各会派要望

番号		要望事項	
160	26	4	学校出入口からの誘導を含め、避難所のすべての表記を多言語化すること。
161	27	5	スマートフォンなどの充電が出来る設備を避難所に常備すること。
162	28	6	避難所で使用するためのフリーWi-Fiを整備すること。
163	29	7	総合防災訓練において、障がい者などが参加し、障がいに応じた訓練が行えるよう、当事者団体と連携し内容を検討・実施すること。また、実施にあたり、手話通訳者の配置など、コミュニケーション支援策を講じること。